

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

巻頭

新体制の市議会がスタートしました！

第148号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



① 県立西新発田高校の皆さん

新体制の市議会がスタートしました

4月23日の市議会議員選挙の結果、新たに構成された市議会議員を紹介します。
任期は令和5年5月1日から令和9年4月30日までです。

掲載順序は議席番号順です。

写真の下には、氏名、住所(任意)、期数、所属会派を掲載しています。

期数は、合併前の町村議員期数も含みます。



① 板倉 久徳
中央町・2期
令和会



② 五十嵐 良一
西簗口・2期
令和会



③ 宮野 清隆
大栄町・1期
令和会



④ 高橋 茂
下小中山・1期
令和会



⑤ 小川 徹
豊町・8期
令和会



⑥ 比企 広正
長者館・6期
令和会



⑦ 湯浅 佐太郎
松岡・4期
令和会



⑧ 板垣 功
下内竹・3期
令和会



⑨ 若月 学
小戸・4期
令和会



⑩ 宮崎 光夫
荒川・3期
令和会



⑪ 広岡けんじろう
住吉町・1期
ひらく会



⑫ 惣山 かすみ
1期
ひらく会



⑬ 阿部 聡
五十公野・3期
無所属



⑭ 青木 三枝子
御幸町・2期
無所属



⑮ 宮本 佳太
浦・1期
ひらく会



⑯ 小柳 はじめ
上楠川・4期
ひらく会



⑰ 石山 洋子
板山・4期
公明党



⑱ 渡邊 喜夫
西名柄・5期
公明党



⑲ 高橋 芳子
豊町・1期
日本共産党



⑳ 中村 こう
上石川・9期
無所属



㉑ 長島 徹
大栄町・1期
共道しばた



㉒ 加藤 和雄
佐々木・6期
日本共産党



㉓ 宮村 幸男
三ツ樹・11期
日本共産党



㉔ 三母 高志
五十公野・2期
共道しばた



㉕ 小坂 博司
川尻・4期
共道しばた



正副議長が選出されました

5月26日の臨時会では、新たな議会の議長、副議長を決めるための選挙が行われました。

投票前には申し出があった議長候補2人、副議長候補1人が、所信を表明しました。

投票の結果、宮崎光夫議員が議長に、小坂博司議員が副議長に選出されました。



議長選挙投票結果

| | |
|-------|-----|
| 宮崎 光夫 | 19票 |
| 小柳はじめ | 4票 |
| 無 効 | 2票 |

副議長選挙投票結果

| | |
|-------|-----|
| 小坂 博司 | 19票 |
| 石山 洋子 | 2票 |
| 無 効 | 4票 |



議長挨拶



第37代議長
宮崎 光夫

議会の最も重要な責務は、執行部から提案される自治体の運営の基本的な方針を決定することです。是々非々の観点からしっかり審議・議論を重ねて、結論を出すことが肝要であると考えます。

このことを念頭に置きながら、市民の意見・要望に耳を傾け、議員全員が自由闊達な討議を行い、市政発展に寄与する議会を目指します。

そして、市民への発信、市民との交流を進め、開かれた議会にすることも議長の役割と考えます。

市民の皆様からの御指導、御協力をお願い申し上げます。

副議長挨拶



第39代副議長
小坂 博司

人口減少が止まらない中で、議会の役割は大きくなっています。議員間の討議を活発に行い、政策の「方向性」を明らかにしながら、議会からの政策提案で「市長(行政)と議会は車の両輪」の役割を果たし、真の二元代表制としての「議会」となるよう更に取り組めます。また、選挙投票率が下がり続けています。「議会基本条例」が謳う、市民に開かれ、市民参加を推進する議会ではなくてはなりません。議会改革のあゆみを止めてはなりません。「議会が変われば“しばた”が変わる」です。さあ、皆様の声で議会を変えましょう。

各委員会の新たな構成

◎委員長 ○副委員長

| 議会運営委員会 | 委員 | | | | | | 定数 |
|---------|----------------|----------------|---------------|-------------|---------------|--|-----|
| | ◎湯浅佐太郎 板倉久徳 | ○三母高志 小柳はじめ | 比企広正 惣山かすみ | 若月学 加藤和雄 | 五十嵐良一 渡邊喜夫 | | 10人 |

| 常任委員会 | 委員会名 | 委員 | | | | | | 定数 |
|-------|----------------|-----------------|----------------|----------------|-------------|------|----|----|
| | 総務 | ◎五十嵐良一 小柳はじめ | ○惣山かすみ 加藤和雄 | 小川徹 小坂博司 | 板垣功 石山洋子 | 宮崎光夫 | | 9人 |
| 社会文教 | ◎板倉久徳 高橋芳子 | ○宮野清隆 三母高志 | 比企広正 中村こう | 広岡けんじろう 阿部聡 | | | 8人 | |
| 経済建設 | ◎青木三枝子 宮村幸男 | ○高橋茂 長島徹 | 若月学 渡邊喜夫 | 湯浅佐太郎 | 宮本佳太 | | 8人 | |

会派別議員名簿

政策や考え方を同じくする議員が集まって会派を構成しています。

◎会長 ○副会長

| 会派名 | 議員 | | | | | | 人数 |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|------------|--|-----|
| 令和会 | ◎比企広正 宮崎光夫 | ○若月学 五十嵐良一 | 湯浅佐太郎 板倉久徳 | 小川徹 宮野清隆 | 板垣功 高橋茂 | | 10人 |
| ひらく会 | ◎小柳はじめ | ○宮本佳太 | 惣山かすみ | 広岡けんじろう | | | 4人 |
| 日本共産党 | ◎加藤和雄 | ○宮村幸男 | 高橋芳子 | | | | 3人 |
| 共道しばた | ◎三母高志 | ○長島徹 | 小坂博司 | | | | 3人 |
| 公明党 | ◎渡邊喜夫 | ○石山洋子 | | | | | 2人 |

※青木三枝子議員、阿部聡議員、中村こう議員は会派に属していません。

人事議案

- 公平委員会委員(同意) …… 星野一雄氏(富塚町)
- 農業委員会委員(同意)
 - ……中村正人氏(上石川)再任・高木辰夫氏(金山)再任・湯浅生夫氏(松岡)再任・小池信義氏(小坂)再任・相沢久明氏(湖南)再任・新保忠司氏(本町)再任・阿部國範氏(乙次)再任・村田研悦氏(新保小路)再任・笠原昭栄氏(長島)再任・杉林武氏(片桐)再任・宮下要一郎氏(菅谷)再任・宮村正義氏(大友)再任・星野幸雄氏(宮古木)再任・近藤勇二氏(東姫田)再任・菅原昭榮氏(下内竹)再任・若杉智代子氏(五十公野)再任・加藤康弘氏(向中条)新任・荻谷恒夫氏(西宮内)新任・渡邊秀弥氏(本田)新任
- 人権擁護委員(適任) …… 加藤和夫氏(関妻)再任
- 選挙管理委員及び補充員(当選)
 - 選挙管理委員
大竹政弘氏(大栄町)・佐藤健吾氏(貝屋)・若杉智代子氏(五十公野)・藤間悦子氏(豊町)
 - 補充員
三宮直巳氏(真野原外)・水島明子氏(大手町)・斎藤みゆき氏(豊町)・中井恵介氏(相馬)

4月臨時会

給付金支給などの物価高騰対策を行います

●新発田市一般会計補正予算(第1号)

- ・低所得世帯へ給付金を支給(住民税非課税世帯に3万円、住民税均等割のみ課税世帯に2万円)
- ・低所得の子育て世帯へ給付金を支給(対象児童1人当たり5万円)
- ・小・中学校、保育園等の給食費値上げ分を支援(保護者負担分の減額)
- ・障がい福祉事業所、介護事業所、私立保育園等を運営する事業者へ支援金を支給
- ・農畜産業者、消費者、事業者、観光事業への経済支援対策(プレミアム商品券発行等)を実施

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 低所得世帯に対する給付金の対象世帯数は。

A 住民税の非課税世帯は8,000世帯、均等割のみ課税世帯は2,000世帯を見込んでいる。



主な議案等に対する賛否の一覧

| 4月臨時会 | 議第4号 | 新発田市一般会計補正予算第1号 | 賛成多数 |
|-------|-------|--|------|
| 6月定例会 | 議第10号 | 新発田市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について | 全員賛成 |
| | 議第12号 | 新発田市税条例の一部を改正する条例制定について | 賛成多数 |
| | 議第15号 | 新発田市公共下水道事業受益者分担金に関する条例の一部を改正する条例制定について | 全員賛成 |
| | 議第16号 | 新発田市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について | 全員賛成 |
| | 議第18号 | 契約の締結について(外ヶ輪公園大手門線建物解体工事) | 全員賛成 |
| | 議第19号 | 契約の締結について(川東中学校長寿命化改良(建築)工事) | 全員賛成 |
| | 議第20号 | 財産の取得について(新発田市消防団小型動力ポンプ付積載車) | 全員賛成 |
| | 議第22号 | 新発田市一般会計補正予算第3号 | 賛成多数 |
| | 議会第5号 | 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書 | 全員賛成 |
| | 議会第6号 | 地方財政の充実・強化に関する意見書 | 賛成多数 |

詳細およびここに記載以外の議案は
市議会ホームページをご覧ください。



4月臨時会



6月定例会

主なものをご報告します。

6月定例会

奨学金返還支援を前倒しで実施します

●奨学金返還支援事業

県外へ進学した大学生等で市内にUターンし就労する新卒者への奨学金返還支援について、今年度から実施します。

<総務常任委員会での質疑>

Q 事業の方向性は。

A 支援は3年間だが、5年間の居住を条件とする。
期間終了後に居住が継続することや新発田への就職などの効果を期待している。

小型動力ポンプ付積載車を購入します

●財産の取得(新発田市消防団小型動力ポンプ付積載車)

<総務常任委員会>

老朽化に伴う計画的な更新のため、小型動力ポンプ付積載車を4台購入します。



にしそのこども園の遊戯室の増築支援を行います

●認定こども園支援事業

新たに遊戯室を建てる経費などを支援します。

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 建設場所は。

A 今後の保育に支障が出ないよう、園庭に建てる方向で話が進んでいる。



今年度も新型コロナウイルスワクチンの接種を行います

●予防接種事業

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 新発田市の感染者は増えているのか。

A 5類移行により全数把握ではないが、新発田保健所管内は県平均より少し高い傾向。

Q ワクチンの接種状況は。

A 令和5年度春開始接種で65歳以上は、全国27.6%、市30%超。

松浦地区が公共下水道の接続区域に加わります

●新発田市公共下水道事業受益者分担金に関する条例、新発田市下水道事業の設置等に関する条例の改正

現在の農業集落排水処理場は更新せず、公共下水道に接続します。

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 地域への説明状況は。

A 自治会単位で行っている。今後、下水道への切替えに伴う使用料変更について文書でも周知したい。

蔵春閣の書斎天井画などを修復します

●蔵春閣管理運営事業

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 破損の原因は。

A 100年以上前の和紙製のものの劣化があり、春先の気候の影響で収縮し亀裂が入った。

Q 補修方法は。

A 本紙の裏に紙を貼付け、しわやたるみを防いで補強する「裏打ち」という方法で行う。市内の表具店で対応可能。

Q 今後の管理方法は。

A 専門家と相談し、動態保存しながら活用する。修復履歴を記録することで文化財としての価値も維持する。



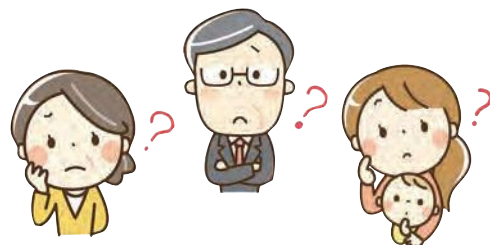
今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 下げ止まらない投票率低下と投票所の運用 Q2 シェアオフィスの現状と今後の活用方針は

● 小柳はじめ 議員

- Q 有権者6,172名の投票所の一方で、最小は29名である。500名未満も25カ所あり不公平解消のため統廃合の検討は。
- A 投票所への距離的要素等もあり今は統廃合の計画はない。
- Q 期日前投票所の拡充と移動投票所導入の検討は。
- A 二重投票の恐れや要員確保の観点、要望が無いことから今は考えていない。
- Q 投票者にティッシュ1箱進呈など大胆な改革が必要では。

- A 投票率向上のため従来通り書き初め大会など啓発活動を行う。
- Q 入居は順調だがUIターンに貢献していない。
- A 一歩進んだ制度設計と柔軟な対応での企業誘致が必要と考え担当課に指示した。



柏崎市の移動投票所



Q1 投票率向上に向けた市の取り組みは Q2 小・中学校の自転車ヘルメット義務化対応は

● 板倉久徳 議員

- Q 投票率の低下に対し、今後市としてどう対策をしていくか。
- A 今まで色々取り組んできたが、先進地の事例を参考にに取り組んでいく。
- Q 期日前移動投票車を設けてはどうか。
- A 柏崎市ではやっている。参考にして検討する。
- Q 市政や議会に対する興味や関心を持ってもらう上で、子ども議会を開催してはどうか。

- A 市政・議会の啓発として有効である。議員が主導し、開催に向けて検討を進めてほしい。
- Q 自転車ヘルメット義務化による小・中学校の対応は。
- A 通学においては義務化している。法改正の啓発もしている。



イオンの期日前投票所





Q1 家庭ごみ集積管理及び収集について
Q2 佐々木地区公共交通の運行について

▶ 五十嵐良一 議員



- Q 国民の祝日及び振替休日で、ごみ収集されない日の次の収集日には、ゴミステーションに入りきれないほどのごみが出されることについて。
- A 令和6年度からスポーツの日、成人の日及び振替休日となる月曜日も燃えるごみを収集するよう前向きに検討する。
- Q 令和7年度の運行開始に向けたスケジュールと利用者が定着するまでの支援や乗り方教

室、マイ時刻表作成説明会の実施について。

- A 令和6年度中には地域住民の意見を反映した運行計画をとりまとめ、令和7年度の上半期に運行開始をさせたいと考えている。



Q1 加治川地域における過疎債事業について

▶ 高橋 茂 議員



- Q 米や野菜などの販路拡大をさらに進める計画はあるのか。
- A 魅力ある新発田産農作物の知名度と価値を高めた上で、更なる取組みへと繋げていきたいと考えている。
- Q 自治会・町内会等の地域組織のなり手不足等、対策や計画はあるのか。

- A 担当各課および地域づくり支援センターを中心に連携し、地域活動のキーパーソンとなる方を探し出すとともに、地域の実情に合わせた運営方法を提案している。



Q1 不登校の現状と対策・支援策について
Q2 ひきこもりの方への対策・支援策について

▶ 長島 徹 議員



- Q 当市の状況は。
- A 令和4年度小・中学校で199名である。
- Q さわやかルームと各地域を往復する送迎バス導入の考えはあるか。
- A 現在のカルチャーセンター発着に苦情等が無いことから導入の考えはない。
- Q 県立新発田病院に院内教室を設置することが有益と考えるが。
- A 有益と認識している。

- Q ひきこもりの方への訪問支援体制について。
- A 家庭訪問が最も有効な手段として現在の訪問員1名から増員等を検討したい。
- Q 本人とその家族にとって安心安全で利用環境の良い居場所作りを。
- A 利用しやすい常設の居場所新設も含めた施策構築を指示した。





Q1 新型コロナワクチン接種後の副反応について
Q2 ユウネスと児童センターの休館日について

◎ 惣山かすみ 議員



- Q** 健康被害が多数報告されている。市民に説明しているか。
- A** 市ホームページに厚労省の詳細サイトへのリンクをつけているほか、接種券に資料を同封し周知している。
- Q** 市の相談・診療窓口を設置する考えはないか。
- A** かかりつけ医等を案内しており、市独自に設置する考えはない。
- Q** 国の健康被害救済制度申請までにかかった

- 費用の一部を市で助成する考えはないか。
- A** 助成制度導入の考えはない。
- Q** ユウネスしばたと児童センターの休館日が重なることが多いため、変更は可能か。
- A** 両施設を一体として運営している。しばらく様子を見る。



Q1 旧市民ギャラリーの存続について
Q2 カルチャーセンターの整備について

◎ 中村 こう 議員



- Q** 旧市民ギャラリー(旧憲兵庁舎)は歴史的文化的価値があり、蔵春閣のように安全な形で整備し利活用すべきでは。
- A** 移転先を検討したが決まらなかった。老朽化も著しく利用するには多額の費用がかかるので、図面写真と一部部材を残し解体することとした。
- Q** リニューアルして、設立40周年を記念した大会など誘致してはどうか。

- A** 有利な財源を活用・整備し、40周年としてではなく魅力ある大会等を誘致したい。
- Q** センター正面の花壇はタイルが欠落している。改修すべきでは。
- A** 花壇の破損欠落等については早期に改修する。



カルチャーセンター



Q1 「生理の貧困」今後の支援対策については？
小・中学校の生理に関する環境整備は？

◎ 高橋 芳子 議員



- Q** 一部公共施設トイレの生理用品配置と窓口での無償配布を試験的实施した結果、変更はあるか。
- A** 用品設置や配布により必要な支援に繋がられる体制を継続する。また、一過性でない支援施策を国に要望した。
- Q** 学校の保健室で生理用品を無償配布し、相談・支援に繋がっているか。
- A** 1校当たり年間数回から30回程度の利用。支援に至った事例は数件ある。

- Q** 学校での突然の生理に備え、トイレに用品設置は可能か。
- A** 7校に設置あり。学校の判断による。
- Q** 生理痛での欠席を欠席扱いにしない対応は可能か。
- A** 文科省が認めることを願っている。





Q1 公共施設の太陽光発電による光熱費の削減を
Q2 自治体自ら自衛隊へ個人情報提供は義務なし



▶ 青木三枝子 議員

- Q 公共施設壁面に太陽光パネル設置を。
- A 壁面へのパネル設置は問題もあり。今後検討していく。
- Q 住民の懸念が多い親水広場の工事方法が当初より変わっている。今年度中に小水力発電による明かりは灯るのか。
- A 今年度中にモニュメントとしてLED 1個分程度の明かりが灯る予定。
- Q 情報提供を行わない自治体もあるが積極的に自衛隊へ提供を行う必要があるのか。

- A 当市は自衛隊法に基づき法定受託事務を行っている。
- Q 提供を拒否できる除外申請の周知を。
- A 市ホームページや広報だけでなく各学校や公共施設等に協力を依頼し更なる周知に努める。



工事中の親水広場



Q1 がん患者のアピアランスケア支援を
Q2 居場所、学習機会確保で不登校支援の充実を



▶ 石山洋子 議員

- Q がん治療を継続しながら社会活動を送るためのウィッグや補正具購入費助成が必要と考えるが。
- A 個人の要望に合わせた支援を行うケアの実施について、担当課に速やかに検討するよう指示した。
- Q 保護者を支える環境整備、保護者会は必要であると考えているが、立ち上げについて。

- A 重要課題と認識している。車野校で考えている。
- Q フリースクール等との情報共有と財政支援、連携協議会の設置について。
- A 財政支援は現時点では考えていない。連携、協力は必須である。必要に応じ連携協議会等の設置について検討したい。



Q1 AIチャットボットシステムの導入について
Q2 観光アプリの導入について



▶ 広岡けんじろう 議員

- Q 利便性向上のため、まずは市民生活課及び環境衛生課、将来的には全庁的に導入してはいかがか。
- A 市民生活課や環境衛生課などに導入へ向けて検討を進めるよう指示した。総合的に判断した上で、全庁的に拡充させながら、サービス向上、DX推進を図っていく。
- Q 観光アプリ導入の予定はあるか。令和5年4月に開館した「蔵春閣」の観光PRにも繋がる

- るのではないか。
- A アプリ等のツール導入より、観光客にとって魅力的な観光コンテンツを充実させることが最優先課題。





Q1 部落差別や人権侵害を無くす取組みについて
Q2 学級閉鎖時の児童クラブへの受入れについて

▶ 三母 高志 議員



- Q 直近のインターネット上で行われた新発田市民への部落差別被害について市長はどう受け止めたか、また再発防止と市民啓発について。
- A 現在もインターネット上で悪質な差別書込みが行われ看過できない。モニタリング事業を進め、研修など先進自治体と連携し対応する。
- Q インフルエンザ等による学級閉鎖時の未感

- 染児童の児童クラブへの受入れについて新発田市も可能な対応を検討しては如何か。
- A 感染症拡大防止の視点では困難だが平成28年度までは受入れを行っていた。令和になり状況も変わっていることから研究を行いたい。



Q1 新発田市国民保護法に基づく対応について

▶ 板垣 功 議員



- Q 新発田市も国民保護計画が策定されているが、有事の際の武力攻撃などの対処のために、平時から、国、県の関係機関などとの情報共有が重要であり、そのためにも実働訓練、図上訓練を実施するべきと考えるが如何か。
- A 当市は11月10日に各地域の自主防災組織で構成する新発田市防災協会と市内小・中学校を対象に国・県と合同で弾道ミサイルを

想定した初動対処訓練の実施を予定している。また、6月26日には市職員を対象に地震を想定した図上訓練も予定している。



6月26日 図上訓練



Q1 福島潟治水竣工記念に桜等植栽できないか
Q2 インボイス制度による経済的影響への対応は

▶ 宮村 幸男 議員



- Q 今年の3月で水田盤上げ工事が終了したが、築堤脇の用地に事業竣工記念に桜か旧豊浦町の花アジサイの植栽は可能なのか伺いたい。
- A 県は「花等であれば可能」とし、市として花の種類や場所等を県に再度協議・働きかけを行いたい。
- Q 制度の影響がシルバー人材センター加入者に及ぶが、新たな税負担が発生しないよう

国に働きかけるべきでは。

- A 人材センターは、非常に重要な存在だ。全国シルバー人材センター事業協会は国と調整中であり、安定運営に資するよう助言や指導など必要な支援を行いたい。





Q1 带状疱疹ワクチンの接種費助成について
Q2 新発田市農業の課題と支援の在り方について



▶ 渡邊 喜夫 議員

- Q 带状疱疹流行により新年度にワクチンの接種費用助成を行う自治体が増えている。市民の健康を守る観点から助成をすべきでは。
- A 「健康長寿のまち」実現を目指す当市に带状疱疹に苦しむ方を減らす取組みは重要。助成の実施に向け検証作業に移行する。
- Q 有機農業の推進、園芸品目の産地化、畜産振興、新規就農者や担い手支援、農地・農

村集落の持続的な維持など実態に合わせた支援なのか。

- A 担い手等への農地集積率は80%に到達する。環境保全型農業直接支払を推進。WCS生産に産地交付金の活用。多面的機能支払交付金は有効。



Q1 ふるさと納税強化への今後の展望について



▶ 宮本 佳太 議員

- Q ふるさと納税の現状と今年度の目標値、今後の強化策はあるか？
- A 前年度実績は4.87億(昨対比-0.4億)円/1.3万(同-3千)件。今年度目標は5.5億/1.7万件。特に関西圏セールスに注力する。
- Q 将来的に10億を目指す為の具体策として役所縦割りを排した、ふるさと納税強化チーム組成や担当職員増強、民間登用の可能性はあるか？

- A 現状自前主義で民間登用予定なし。職員増強ではなく、役所内部での他課連携を強く指示し、まずは1年様子を見る。



Q1 自衛隊施設の強靱化・土地利用規制法の影響
Q2 熱中症対策について



▶ 加藤 和雄 議員

- Q 計画は283地区、5年間で4兆円。新発田駐屯地も対象。建築基準法等の許可は必要か、自衛隊からの打診はあったか、市民が知る機会は。
- A 国の施設なので計画通知により手続きを行う。現時点で相談はない。手続き後「建築計画概要書」を閲覧できる。
- Q 法に基づく「特別注視区域」指定候補になった。市民への影響は。
- A 区域指定となった場合、周囲1kmの範囲で

土地等の利用・所有状況の調査等の対象となるが、市民生活への影響はないと考える。

- Q 高齢者・低所得者世帯等へのエアコン・電気料金の助成は。
- A 現時点では考えていない。



議会からのお知らせ

新しい議会人事のご報告(敬称略)

- 新発田地域広域事務組合議会議員(当選)
 - ▶▶ 宮崎 光夫(議長)・小坂 博司(副議長)
 - 小川 徹・湯浅佐太郎
 - 宮野 清隆・小柳はじめ
 - 加藤 和雄・三母 高志
 - 渡邊 喜夫
- 新潟東港地域水道用水供給企業団議会議員(当選)
 - ▶▶ 若月 学・宮本 佳太・長島 徹
- 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員(当選)
 - ▶▶ 板倉 久徳
- 監査委員(同意)
 - ▶▶ 板垣 功

議員表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から表彰された議員を紹介します。

宮村 幸男 議員(議員在職 30年)

加藤 和雄 議員(議員在職 20年)

入倉 直作 元議員(議員在職 20年)

議会を傍聴してみませんか



みなさんも
傍聴にお越し
ください!

市議会では市民に身近な問題を審議しています。

市民が市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

市民はもちろん、だれでも本会議や委員会の状況を直接ご覧いただけます。

9月定例会日程予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------|--|-----------------|-----------------|-------------------|---------------------|----|
| 9/3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | | | 議会運営委員会 | | 本会議 (提案理由説明) | |
| | | | | | 決算審査委員会 (財務課長説明) | |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | | 本会議 (一般質問) | 本会議 (一般質問) | 議会運営委員会 (一般質問) | 常任委員会 (総務) | |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | | 常任委員会 (社会文教) | 常任委員会 (経済建設) | 議会運営委員会 | | |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 本会議 (補正予算等採決) | 決算審査委員会 (第3セクター) (総務関係) (社会文教関係) (経済建設関係) | | | | | |
| 10/1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 決算審査委員会 (市長総括質疑) | | | 議会運営委員会 | | | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| | 本会議 (一般会計決算議案等採決) | | | | | |

※請願・陳情の提出期限は8月30日です。
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継しています。

① FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



② インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



③ インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。

下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

ホームページで市議会を紹介しています

<https://www.shibata-shigikai.jp/>

市議会のホームページでは、市議会のしくみや議員名簿、議会日程等を掲載しています。

本会議や常任委員会で議員の質問や市長等の答弁を記録した「会議録」を検索閲覧することができます。スマートフォンやタブレット端末でも検索できます。他にも、「市議会だより」のバックナンバー（83号以降）を見ることができますので、ぜひご覧ください。

なお、このたびの6月定例会の会議録は、9月上旬頃に掲載予定です。

また、これまでの会議録(冊子)は、市立中央図書館(イクネスしばた内)に設置されています。



SHIBATA TOPICS

キラキラ輝く若いチカラ

自分の将来を切り拓くために探究！



表紙写真：県立西新発田高校1年生
～総合的な探究の時間「2つのりんご計画」～
「多くの人に会い、
自ら選択する力を身に付けたい。」

写真説明／表紙①取材に伺った日は、平日のお昼休み。雨の中、今回の活動のタイトルにもなっている「二つの林檎」像の前で撮影。左から、磯部孝太郎さん、渡邊瑠天さん、吉澤唯人さん、飯田莉早さん、木村華依さん。②⑤事業者訪問で仕事について様々な話を聞いてきた。③事業所へ向かい徒歩で市内を移動。④訪問先の店長さんがまさかの西高卒の先輩。売り物のシャツを着させてもらったのワンショット。

県立西新発田高校は昨年、創立120周年を迎えた歴史ある高校。平成30年度から定時制課程(午前部)と新たな形で特色ある教育活動を行っている。今年度、1年生(62名)の総合的な探究の時間で、「2つのりんご計画」と銘打って新たな取り組みをスタートした。2つのりんごとは、校庭にあるブロンズ像のタイトル「二つの林檎」。生命と学問という2つの大切なものを学んでほしいという作者の願いが込められている。6月には市内の事業所へ5名程のグループに分かれて訪問し、仕事に関する話を聞いてきた。今年度は、自己探究に関する講話や企業説明会なども予定されており、将来の夢や目標に向かって、自ら選択する力を身に付けられるよう今後も活動していくとのこと。

西新発田高校

検索

編集後記

梅雨明けと同時に猛暑の夏が駆け足でやってきました。気候変動のせいなのか、私達を取り巻く社会環境が慌ただしいのか、四季の彩りをゆったりと体感できることが少なくなった気がします。今回発行された議会だより「ヨミネスしばた148号」は、市議会改選後、幅広い世代層で構成された新たな広報広聴委員会で編集された議会だよりです。市

民の皆様には「ヨミネスしばた」を通じて、新しい条例が議会で成立されたことや制度の新設等の結果をお知らせするだけでなく、実際の議場や委員会での討議・討論等をリアルにお伝えできるよう努めてまいります。ぜひ手に取って見ていただき、ご意見感想をお寄せください。

(文責・石山洋子)

【広報広聴委員】委員長／石山洋子 委員／板倉久徳・湯浅佐太郎・広岡けんじろう・高橋芳子・長島徹